

申年の寺参り

杉野信博

本年は申年なので正月のTVには高崎だの淡路島の猿園で大勢の猿が元気に飛び廻っている映像が出ていた。また別のチャンネルでは長野の山の中の温泉に何匹かの猿が首までつかり気持ち良さそうに入ってる風景が出ていた(図1)。廻りは雪景色で「寒中暖あり」と言ったところだった。

筆者の自宅(都内東中野)の近くに俗称さる寺と言う松源寺がある(図2)。この寺を知ったのは近所で親しくなった店主(共に野球のGファンでよく話しをした)。彼が「私の友人に熱烈なGファンが居て一緒に東京ドームに見に行くんです。そ奴が腎臓が悪くて2,3年前に“さる寺”のお告げとかで2駅先の人工

透析病院に行って透析を始めたんです。前は顔色も悪く痩せていたのが最近は何が違ったように元気になり週何回か通っていますが商売も時々出来るようになったんです。“人工透析”, “さる寺”様々ですね。先生は人工透析に関係していらっしゃったんですね」と言った。それで我が家からゆっくり歩いて20分許りの松源寺に行ったのである。“さる寺”は災害や病災が去ると言うので近所の参拝者が多いそうだ。

今年も3月になってから申年なので参りに行ってみた。正月気分も遠く去ったので人影も無く静閑な境内であり、門前に造られた坐っている猿さんの石像も何となく淋しそうでおった。



図1 長野の山中温泉に入ったボス猿



図2 東中野 松源寺（さる寺）（自写）

暖冬とは言え当日は寒い北風がびゅうびゅう吹いていたので真冬の風雨に曝されて気の毒だと思った。

思い出したのはあの山の中の寒い温泉に入っていた猿の楽しそうな入浴姿だった。その中の真ん中に居たボス猿と思しき一匹の「良い湯だな」などと唄いそうな顔を描いてみた。松源寺の猿も入れてやり度いなと思いつら家路に足を向けたのでござる。 了

東京女子医科大学名誉教授であり、当会顧問である杉野先生は、本年4月11日に永眠されました。享年89歳。生前の先生のご指導に深く感謝し、心よりお悔やみ申し上げます。合掌。

（広報委員長 久保和雄）